

夏休み防災未来学校2025 資料室イベントのお知らせ

夏休み防災図書コーナー

阪神・淡路大震災、東日本大震災などに関する物語やエッセイといった児童書を期間限定で貸出し＆読書感想文作成ブースを開放予定！夏休みの読書感想文や自由研究は人と防災未来センターで防災について書いてみましょう！

開設期間

2025年7月15日(火)～9月7日(日)

資料室開室時間：9時30分～17時30分

図書貸出

対象：幼児～中学生

冊数：1人1回2冊まで(4週間)

※初回利用時は生徒手帳や連絡先がわかるものをご持参ください。



なりきり!震災資料専門員 ～写真の風景を調査せよ～

阪神・淡路大震災から30年、復興が進んで街並みや風景も大きく変わりました。震災資料専門員は震災当時の写真や映像がどの場所で撮影されているのかを調査し、アーカイブで公開しています。

みなさんも当時の地図と情報を手がかりに、写真の撮影場所がどこなのかを一緒に調査しましょう！

クイズ

この写真はどこで撮影されたでしょう？
(答えは次号で！)



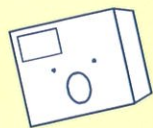
イベントの詳細や予約方法は夏休み防災未来学校のHPからご確認ください。

URL: <https://hitobou.com/event/summer/2025/>



震災資料をお持ちの方に

人と防災未来センターでは、現在も震災資料の収集を続けています。「こんなものでいいのかな？」と、おっしゃる方もなかにはいらっしゃいます。寄贈できるか分からないとお考えの方や、震災後、すぐには手放せなかったものの、**震災の出来事を伝えるために活用したい**とお考えの方など、悩んだ際には、**ぜひ一度、資料室までご相談ください。**



(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
DRI 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター資料室

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター西館5階

TEL 078-262-5058 FAX 078-262-5062

URL <https://www.dri.ne.jp/>

開室時間 9:30～17:30

閉室日 毎週月曜日(月曜日が祝日又は振替休日の場合は翌平日)

12月29日から1月3日



資料室は無料で
ご利用いただけます



阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター
The Great Hanshin-Awaji Earthquake Memorial
Disaster Reduction and Human Renovation Institution

資料室ニュース



Vol.87

2025年
7月発行

震災30年 資料室特別展

「駅・鉄道の被害と市民生活、そして復興」

阪神・淡路大震災による駅・鉄道の被害は、市民生活における物理的・心理的断絶をもたらしました。それまでの日常生活で機能していた当たり前のものが、大きな被害を受けて本来の役割を果たさなくなった時、それを利用していた人々の生活はどのような変化を余儀なくされたのでしょうか。また、日常の回復のため尽力した人々の歩みについても、駅・鉄道を中心に展示します。

被災者が記録し、人と防災未来センターに寄贈された多くの映像資料の中から、駅や鉄道の被害に関する映像記録を抽出し、一つの映像にまとめましたのでご覧ください。



阪急電鉄3109車両前面扉
(資料番号：494-000001)



映像：発災当日。神戸市西区伊川谷
(資料番号：596-000001)



映像：H7.3月。西宮市
(資料番号：596-000002)



電車のヘッドマーク「復興応援一元気
HAKOBEこうのとりキャンペーン」
(資料番号：595-001001)

場所

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
西館1階ロビー(無料ゾーン)

期間

2025年6月24日(火)～2025年7月21日(月)



震災資料のメッセージ「震災と映画」

神戸市は日本における「映画発祥の地」と呼ばれており、多くの劇場や映画館が集まっていました。阪神・淡路大震災ではそれらの映画館が被災し、閉館を余儀なくされたものもあります。

しかし、被災地の人々を元気づけるために、チャリティー上映や出張上映会、映画祭の開催など様々な取り組みが行われてきました。また、震災後の街を撮影したドキュメンタリー映画や邦画もあり、被災地の現状や復興の様子を伝えるとともに被災者に元気を与えることもありました。

本展示では被災者への激励や復興応援の取り組みにおいて、映画がどのように関わっているのかを紹介します。



ビル（神戸新聞会館）の被害状況
(資料番号：384-001001-008.00001)

場所

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
西館3階常設展示(有料ゾーン)

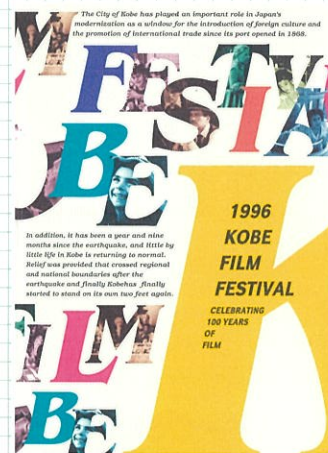
期間

2025年6月10日(火)～11月30日(日)



1996 KOBE FILM FESTIVAL
(資料番号：3300951-001001)

『1995・神戸・ある避難所の記録
すぎなんやこの町が』
(資料番号：55-001091)



資料紹介

寄贈資料：「寅さん」関連資料

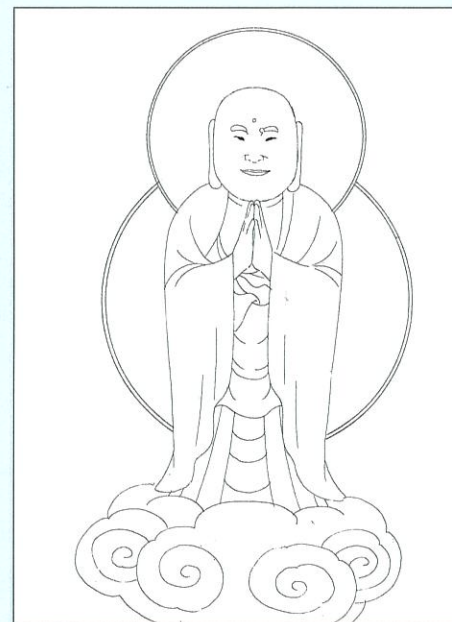
寄贈者：中村専一 作成年：1995年

映画『男はつらいよ 寅次郎紅の花』は『男はつらいよ』シリーズ最終作であり、舞台の一つとして震災後の神戸市長田区が登場します。

ロケの誘致に尽力した中村専一さんから、山田洋次監督とのやりとりやロケ風景の写真など『男はつらいよ』に関する資料や、犠牲者の鎮魂と街の復興を願ってJR新長田駅に建立された「寅地蔵」に関する資料などが人と防災未来センターに寄贈されました。



『男はつらいよ 寅次郎紅の花』
ロケ風景
(資料番号：537-200001-011-011)



寅地蔵デザイン案
(資料番号：537-103001)

震災資料を保存する

今年の1月17日で、阪神・淡路大震災から30年が経過しました。人と防災未来センターが所蔵する震災資料の多くも、同じだけ年数を重ねています。経年や虫害による劣化を防ぎ、震災資料をできる限り良い状態で後世に伝えていくため、資料室では収蔵庫の温湿度調整といった保存環境の管理だけでなく、「資料保存環境調査」「殺虫剤散布処理」など様々な取り組みを行っています。

環境調査から燻蒸までの流れ

収蔵エリアの虫菌害・空中浮遊カビの有無について調査を行い、現状を把握することにより、今後の保存環境の改善を図るため、西館3階展示フロア、5階資料室フロア、7階収蔵庫にて歩行性昆虫調査及び空中浮遊カビ調査を毎年行っています。

こうした環境調査の結果に基づいて、一年に一回殺虫剤散布処理(燻蒸)を実施します。令和6年度の燻蒸は、観覧客の訪問によって害虫が侵入しやすい場所である西館3階展示室のみにて行いました。殺虫燻蒸処理を行うことで、一度に害虫を全滅に近い状態にできるので、その後しばらくの間害虫が発生する確率を低くすることができます。殺虫処理に使用するピレストロイド系殺虫剤は、昆虫類には高い殺虫・忌避効果がありますが、光や温度で分解されるため、人体や文化財の材質への影響は非常に低いとされています。



3階展示フロアに殺虫剤の散布を準備している様子。散布後、展示室は4時間密封状態を維持し、隙間に隠れた害虫を駆除します。

韓国からの訪問

国会・自治体の視察団



大韓民国国会副議長の朱豪英さん(左)と朴震災資料専門員

震災資料専門員より、資料の収集・保存及び震災資料からの教訓を発信する資料室の役目について説明しました。

韓国社会には、今まで地震による被害が少なかったため、阪神・淡路大震災を記念し災害に備える人と防災未来センターという施設は、視察団にとって大いに参考になったそうです。防災においても、日韓の協力が広がることを心より望みます。

2025年3月12日の午後、大韓民国国会副議長の朱豪英さんが率いる大韓民国・韓日議員連盟視察団が人と防災未来センターを訪問されました。次いで、5月13日には、釜山広域市防災担当職員の視察団が当センターを訪問されました。



釜山広域市防災担当職員の視察団